

降ひょう・大雨に係る技術対策について【なす・ねぎ】

令和7年7月11日
本庄農林振興センター

7月10日の夕方から夜にかけて、児玉地域で、強い雨とともに降ひょうや突風がありました。病害の発生に留意し、以下の対策を講じて生育の回復を図りましょう。

1. なす

天気が回復したら以下の対策をとりましょう。

- 褐色腐敗病、灰色かび病等の発生が懸念されるため、次ページの表1を参考に**薬剤散布を行う**。
- 枝折れしたものについては、折損部分を切り落とす。その際、摘葉は極力避けて草勢の回復を待つ。

茎の損傷や落葉等で
被害程度の大さい場合

被害果実は**直ちに摘除する**。
(株の負担を軽減するため)

茎葉の一部損傷等で
被害程度の小さい場合

被害果実の摘除は生育状況を見て行う。
(果実の摘除を行うと草勢が強くなる可能性があるため)

- 損傷の軽い側枝は残して整枝し直す。伸ばす枝はしっかり固定する。
- 新葉が展開し草勢の回復が見られたら、「速効性肥料で窒素成分2kg/10a」程度の追肥、または葉面散布を行う。

2. ねぎ

⚠ 大雨により明きょが埋まっている可能性があります。点検・補修しましょう。

- 次ページの表2を参考に**薬剤散布を行う**。
- 茎葉を損傷した株は7～10日程度で出葉して回復するので、ほ場に入れるようになったら、軟腐病や白絹病の対策のため、土寄せ時に薬剤を株元に散布する。
- 株が倒伏した場合は、天候とほ場の状態の回復を待って、丁寧に起こす。

表1 なすに登録のある薬剤例（令和7年7月10日登録状況。JPP-NET）

FRAC	農薬通称	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	褐色腐敗病	灰色かび病	適用のあるその他の病害
9	フルピカフロアブル	収穫前日まで	4回以内	散布		○	うどんこ病, 黒枯病
12	セイビアーフロアブル20	収穫前日まで	3回以内	散布		○	フザリウム立枯病, 褐色斑点病
21	ライメイフロアブル	収穫前日まで	3回以内	散布	○		
21	ランマンフロアブル	収穫前日まで	4回以内	散布	○		
MO5	ダコニール1000	収穫前日まで	4回以内	散布		○	黒枯病, すすかび病, うどんこ病
MO7	ベルコート水和剤	収穫前日まで	3回以内	散布		○	すすかび病, うどんこ病

表2 ねぎに登録のある薬剤例（令和7年7月10日登録状況。JPP-NET）

FRAC	農薬通称	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	白絹病	軟腐病	適用のあるその他の病害
PO2	オリゼメート粒剤	土寄せ時 但し、 収穫30日前まで	2回以内	株元散布		○	
MO1	Zボルドー*	-	-	散布		○	斑点細菌病, 褐斑細菌病, 黒腐病, べと病, 黒斑細菌病
MO1	ヨネボン水和剤	収穫7日前まで	4回以内	散布		○	べと病, 黒斑病, さび病
3	モンガリット粒剤	土寄せ時 但し、 収穫14日前まで	3回以内	株元散布	○		小菌核病

*「野菜類(キャベツを除く)」で登録

農薬を使用する際は、ラベルや袋に表示された使用基準を必ず守って使用しましょう。
農薬の飛散防止に努めましょう。農薬の使用記録をつけましょう。